

おせっかいな人

悩めるあなた、丸ごと受け止めます！

志茂田景樹の 連載第15回

あたためるコトバ

Profile 1940年静岡県生まれ。さまざまな職業を経て'76年に小説家デビュー、'80年に直木賞受賞。執筆の傍ら、テレビでも活躍。不登校児の支援など、社会的活動にも携わっている。

Twitterでの人生相談が大反響の志茂田景樹先生が、読者のお悩みに答えます！

「モンスター叔母」の ちょっかいに辟易

J・Hさん (51歳)

叔母は、パート先で若い子をいじめるのが大好きなのだそう。私にも「やり方を教えてあげる」と言ってくるんです。「興味ないわ!」と答えたら怒って、母(叔母の姉)に八つ当たり。始末に負えません!

何かと口出ししてくる 義両親がストレスです

K・Kさん (39歳)

夫の両親が何かと口出ししてきます。昔から、結婚式場を勝手に決めようとするなど「!?」な言動は多々。それから10年たった今も「近くに住め」とうるさくて、夫や私の職場に電話してくることも! 夫婦でウンザリしています。

「共通の敵」は 生活の良スパイス!

彼らの行動を変えさせるのはまづ無理でしょう。非常識な人って、その行動が非常識だとさえ気づかないものですから。となると必要なのは、あなたがたの「受け取り方」を変えること。

迷惑、という気持ちをいったん脇に置いて「刺激になるかも」ととらえてみては。
実際、彼らの存在は意外に役立つですよ。結婚して10年もたつと、夫婦仲には良くも悪くも慣れが出てくるもの。そんなとき、共通の敵は格好のスパイス。おもしろおかしく「あきれたね」と話せば、夫婦間も緊密になります。
人生、少し「波風のもと」があったほうが豊かになるもの。嫌なことを、あえて楽しんでみて。



相手にしないのが一番。 すべてを受け流して

きつとお母さんや周囲の人たちは、叔母さんに反論せず適当に流しているのでは。あなたも同様に「へえ、すごいわねえ」などと答えて、相手にしないのが吉。
もし、それができないほど彼女が不快なら……あなたの中に、彼女と相通じる部分があるのかも。

「世話好き」を やめられない私って変?

H・Kさん (59歳)

私は人の世話が大好き。病気の友人に何か美味しいものを作って駆けつける、なんてしょっちゅう。でもときどき、やりすぎて迷惑がられ、友人を失うことも。「ほどほどにしないと」と頭ではわかっているのに、やめられません。

あなたが「いじめ大好きな人」と言っているわけではありませんよ。人間って誰かを嫌うとき、相手の中に「自分」を見るの。内面の、フタをしたい部分を見せつけられ、頭に来るんです。
あなたが叔母さんに対して「不快」ではなく「無関心」になれる日は、きつと来ます。それは「嫌な人になるかもしれない自分」を認めて、成長できた証ですよ。

カゲキ先生に相談したいお悩みはこちらへ!

①氏名②掲載希望名③年齢④住所⑤電話番号⑥メールアドレス⑦お悩みの内容を記載のうえ、下記の宛先までメールまたは郵便でお寄せください(電話またはメールで、お悩みに関する質問をさせていただくことがあります)。掲載された方には図書カード¥2,000分をプレゼントします。

【宛先】●メール kageki@karakoto.com ●郵便 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-44-2 神田TNKビル5F からだにいいこと編集部「あたためるコトバ」係

今月の KAGEKI FASHION

とりどりのパステルカラーをアクセントにした、明るい春色ヘア。軽やかに揺れる毛先も遊び心満点!

